

平成30年度「支え合いを育む人づくり支援事業」助成グループ一覧

(申請団体順)

申請高校・大学名	グループ名	教育・研究活動名	指導責任者名(教員名)	参加生徒・学生数	協働する市民活動団体名	主な活動目的・活動内容	活動期間及び報告会予定日	活動内容(分野別)					
								高齢者	子ども	障害者	防災	その他	
1 関西大学	近藤誠司研究室	難病患者・障害児者の防災力向上プロジェクト	近藤 誠司	32人	尼崎市難病団体連絡協議会	難病患者・障害児者の家庭では、防災対策を促進することに苦慮しているため、当事者の防災意識や災害対応力を向上させることを目的として、尼崎市難病団体連絡協議会と協働し、学生が難病患者・障害児者にヒアリング調査を行い、各家庭における取組状況と課題を「ぐっど・もっとカルテ」というオリジナルの個別避難カルテを策定し、防災意識に変容が起きるか測定、分析を行う。	活動:8月～12月 報告会:12月16日					○	
2 兵庫県立尼崎小田高等学校	看護医療・健康類型「看護医療基礎」	「防災・減災 災害弱者・福祉避難所」&「看護・介護の地域連携・看取りについて」地域社会で高校生に何が出来るのか?	福田 秀志	30人	コスモシティ尼崎自治会	防災・減災に強いまちづくりのために、地域住民向けの防災マップ作成や避難行動要支援者の支援に向けた取組(福祉避難所やユニバーサルデザイン避難所等)の検討や防災イベントの実施を地域の自治会と協働して進めるほか、地域住民に「看取り」について考えてもらう活動を、行政・職能団体、地域の自治会と協働して実施する。	活動:4月～2月 報告会:1月26日、2月9日	○					○
3 園田学園女子大学	藤重ゼミ、つながりプロジェクト	「つながりプロジェクトー尼崎市の子育て支援ー」	藤重 育子	29人	立花結'S	将来的な尼崎市の子育て環境のイメージ向上とともに、様々な世代に還元できる子育てに関する情報を地域へ発信するため、立花結'Sとの交流やフィールドワークを通して得られた情報をもとに、市の子育て情報を一元化したカレンダーを作成し、それを使って地域に情報発信する。	活動:4月～1月 報告会:1月10日		○				
4 園田学園女子大学	江崎ゼミ	地域と大学の宝が、活動を通して、共に学び育つ	江崎 和子	7人	NPO法人スマイルひろば	養護教諭としての資質・能力を高め、「不登校・学校不適応児童生徒」の予防・対策などの学校教育に関連した地域課題解決に貢献することを目的として、こどもたちの「居場所づくり」の活動を進める「NPO法人スマイルひろば」の実施する「スマイルカフェ(主に中学生対象)」や「こども食堂」の活動に参加する。	活動:4月～7月、11月～ 報告会:1月10日		○				
5 関西国際大学	SL-A(福祉学)	福祉学専攻2年授業連携型サービスラーニング	山本 秀樹 尾崎 慶太	13人	企業組合はんしんワーカーズコープ	学生がソーシャルワークの基礎である市民性の獲得や人権感覚を養うことを目的として、はんしんワーカーズコープの運営する地域のコミュニティスペース地域共創Lab.を拠点に地域(商店街)のフィールドワークを行い、大学生目線で地域課題をアセスメントし、地域活性化を目標とするプログラムの提案をはんしんワーカーズコープと協働で実施する。また、地域活性化にかかわる多様な住民の居場所としての児童デイや若者就労支援に携わり、共生する福祉のまちづくりに参画する。	活動:5月～12月 報告会:3月29日		○				○
6 関西国際大学	SL-A(子ども学)	サービスラーニングA「子どもの居場所を考える」	上原 昭三	13人	NPO法人スマイルひろば	尼崎市の子どもの現実を知り、子どもの社会的な問題(貧困、虐待、ひとり親、非行、不登校、いじめなど)と居場所支援との関連についての学びを深め、地域で何ができるのかを考えるために、「NPO法人スマイルひろば」が実施する子どもの居場所支援(学習支援や子ども食堂)に参画し、居場所になる子どもやその子の家庭の問題、背景について考え、大学生として貢献できることを検討、提案し、実行する。	活動:7月～9月 報告会:12月5日		○				
7 関西国際大学	SL-A(福祉学)	サービスラーニングA「障害者施設とのコラボ」	岩本 裕子	23人	一般社団法人福祉心話会 社会福祉法人福成会	交流を通して障害者への理解を深め、地域社会の一員として包み支え合うソーシャルインクルージョンの実現のために学生一人ひとりができることを考え、企画・実施することを目的に、障害者就労支援施設の職員や利用者や交流や、利用者が行う地域清掃等の社会貢献活動と一緒に参加するほか、大学の学園祭において施設利用者と協働した企画の実施等を行う。	活動:7月～10月 報告会:12月20日			○			
8 武庫川女子大学	教育学科 吉井ゼミ	子ども食堂への学生ボランティアの参画	吉井 美奈子	10人	モコモコ倶楽部	学生が地域住民や地域の子どもとの交流を通じて、福祉の面から子どもの居場所づくりの活動に主体的に取り組み、自分たちができていることを考え、実践することでの学生の主体性を育むことや、こうした取り組みの中で尼崎市に愛着を持ち、人との関わりを感じ、考えることを目的として「モコモコ倶楽部」が実施する子ども食堂の活動に参画し、調理の手伝いや絵本の読み聞かせ、遊びを提案し実施する。	活動:7月～ 報告会:2月22日		○				
9 兵庫県立阪神特別支援学校分教室	WORK(喫茶サービス)	喫茶サービス活動を通じた地域活動への参加・交流	中田 今日子	28人	武庫第10社会福祉連絡協議会	障害のある生徒が、喫茶サービス活動を通じて地域との交流を深め、接客技能と社会性の向上を図り、自己効用感、就労意欲等を高めることで地域福祉活動を担う人材に育成すること等を目的に、武庫第10社会福祉連絡協議会と協働して、時友団地の集会所で入居者を対象とした月2～3回程度の「ふれあい喫茶」(喫茶サービス)を実施する。(2月26日 ショウモトさんよりTELあり 連携先は10連協というよりは時友団地になるので、それがわかる書きぶりのほうがいいのでは?時友団地の木村会長がとても協力されていたので、それがわかる書きぶりしてほしい)	活動:6月～ 報告会:2月26日	○					
10 兵庫県立尼崎西高等学校	尼崎西高校防災プロジェクトチーム	学校と地域が連携して築く、地域防災体制のあり方	田中 房雄	62人	西大島社会福祉連絡協議会	防災についての意識を涵養し、生徒の主体的な意識を育むことを目的として、生徒が東日本大震災の被災地支援活動を通じて知見を深めるとともに、西大島社会福祉連絡協議会と連携して、地域の防災拠点としての学校が果たす役割や、高校生が地域と連携して災害時の要支援者を助けるための具体的方法を検討するなど、地域住民も参加した地域防災活動を推進する。	活動:7月～12月 報告会:1月27日						○
11 兵庫県立尼崎工業高等学校	アマッコ堂	あませつ君の放課後博物館～学校図書館を活用した生徒主体の地域課題解決モデルの構築	高木 浩	64人	NPO法人スマイルひろば	社会的弱者の視点で、支え合いや参画と協働による地域づくりを進めることや、安心安全な地域の基盤づくりに寄与することを目的として、地域の福祉課題である「防災」をきっかけにして、尼崎工業高校のものづくり力や地域に開放している学校図書館を活用して、地学・文学を切り口として子どもや高齢者でもわかりやすい防災学習(断層ドミノや稲むらの火講演会等)を、NPOと協働で地域住民や小学校を対象に実施し、その効果を検証する。	活動:6月～11月 報告会:						○
12 関西学院大学	人間福祉学部社会起業学科	社会起業プラクティス	田原 慎介	11人	生島西連協上ノ島野上東町会	学生が社会企業家として活動するために必要な要素を実践の中から理解、習得することを目的として、尼崎市の高齢者の健康増進と介護予防といった社会的な課題に対し、町会と連携して、学生が企画した高齢者の健康増進と介護予防を目標とした高齢者向けのダンス教室を実施する。	活動:7月～ 報告会:12月15日	○					
13 兵庫県立尼崎高等学校	「尼崎学」・JRC部	兵庫県立尼崎高等学校	田畑 北斗	28人	・NPO法人「月と風と」 ・NPO法人スマイルひろば	生徒が福祉課題のある地域の人々との交流を通じて、多様性を認め合い、当事者意識を育むとともに、地域コミュニティの一員として、支援する・されるの関係を越えたつながりの中で、問題解決に臨む資質と能力を育むことを目的として、「こども食堂」や障害者支援団体の取組に参加し、協働して活動に取り組む。	活動:6月～11月 報告会:3月7日		○	○			
								3	6	2	4	1	